

西濃農林事務所の普及活動状況

平成27年6月24日現在

今月の重点活動

■機能性成分米 「LGCソフト」実証ほの設置

岐阜県機能性成分米ビジネスモデル構築支援事業の実証ほとして、低グルテリン米品種「LGCソフト」の田植えが、5月28日に昨年度に引き続き養老町の生産者ほ場にて実施された(面積:13a)。

今年は昨年の実績をふまえ、栽植密度を減らして病気の発生を抑える疎植栽培を取り入れた他、稲の生育にあった施肥体系となるように栽培方法を変更した。

当該事業実証ほに対しては、生育・収量調査を行い、当該品種の安定生産に向けた栽培方法を検討していく予定である。



【田植えの様子】

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー ブロッコリー部会総会及び反省会の開催

ブロッコリーの生育に即した基肥一発肥料の開発について、全農・メーカー・地域農協・農業普及課でチームを作り、平成25年度から肥料組成の検討及び現地試験を取り組んできた。現状では全ての品種で同一肥料を使用しているが、試験では年内収穫品種と年明け収穫品種とで異なる組成の肥料を開発し、よりブロッコリーの生育に即した肥料となるようにした。その結果、26年度試験肥料では、現行肥料に比べ、良好な品質のブロッコリーが栽培できたため、生産者が利用できるように、27年度から製品化して販売する予定となっている。農業普及課は研修会等で、新肥料の紹介と利用上の留意点について説明していく。

売れる農畜産物づくり

■小松菜、水菜、パセリ 総会の開催及び神戸集出荷センターの利用

神戸町下宮青果部会協議会グリーンアイ出荷組織の総会が5月22日に開催された。26年度の出荷量は小松菜で前年比123%、水菜で前年比102%、パセリで前年比86%であった。イオンへの積極的な売り込みでトップバリュ週間用などの出荷が増えたために3品目の総販売金額は前年比113%と増加した。また、水菜部会の反省会及び目揃会が5月26日に、色彩部会の総会が6月8日に開催された。各総会・目揃会において、農業普及課から27年度の栽培暦及び栽培履歴について説明し、農薬安全使用と生産性向上について指導した。

4月から利用を開始した神戸集出荷センターは、出荷時間が今までの夕方から昼に変更になったことにより、早期に出荷数量の把握ができるため市場からの評価は良い。

■甘長ピーマン 害虫防除試験を実施中

アブラムシ類およびアザミウマ類の殺虫剤の感受性低下により、現地では害虫対策が問題となっている。そのため、部会役員のほ場において赤色ネットや天敵昆虫を用いた害虫防除試験を実施中である。また、生産者ほ場でアザミウマ類やアブラムシ類の発生が増加しているため、巡回において注意喚起および防除指導を行っている。

■えだまめ **目揃会開催**

5月15日に牧園芸組合えだまめ部会の目揃会が開催され、出荷規格、出荷方法の確認作業が行われた。農業普及課からは主にハウス栽培で問題となっているダイズシストセンチュウ対策について、展示ほ（土壌消毒試験）の結果説明および今後の対策についての指導を行った。

■茶 **茶産地維持に向けた話し合いの実施**

6月10日に西美濃農協不破営農経済センター、垂井町、農業普及課の担当者が集まり、西濃地域の茶産地維持に向けた話し合いを行った。先に行った生産者に対するアンケート調査結果を受けて、老朽化した加工施設の改修計画やそれに伴う販売ルートの新規開拓などの検討を行った。また、高齢化などで半ば放任園化している茶園について、次回以降は主たる生産地である垂井町、関ヶ原町、大垣市上石津町の生産者及び各市町の担当者を交えて、広域的な産地維持の検討を行う話し合いの場を持つこととした。

■梨新規担い手 **梨栽培開始に向けた準備の実施**

5月25日、26日に大垣地域の水田担い手である(株)D I Bが、耕作放棄された梨園2カ所の整備を行った。整備した園を借り入れて、梨栽培を実施していく予定である。

戦略的な流通・販売

■農産加工グループ **安八町農産加工運営委員会梅部会梅干し漬け込み開始**

6月に入り、27年度の梅の漬け込み作業が開始された。百梅園では640kgの大梅が収穫された。安八百梅園の梅では量が少ないため、毎年、他産地から梅干し用の梅を購入している。昨年度より養老梅部会から仕入れており、27年度は850kg(26年度410kg)を購入した。他産地からも1,250kg仕入れ、平成27年度は全量で約2,740kg(26年度2,016kg)の加工を予定している。梅部会梅干しは安八温泉やJAファーマーズマーケットで販売している。



【梅土用干しの様子】

多様な担い手の育成・確保

■新規就農者 **岐阜県就農支援センター第1期研修生修了式**

5月28日に、岐阜県就農支援センターにおいて第1期研修生4名の修了式が挙行された。来賓は岐阜県知事のほか、東海農政局長、岐阜県議会議長（代理：森副議長）、海津市長等が出席され、新規就農者に対する期待の大きさを窺うことができた。

激励のことば等を受け、修了生から地域農業の担い手としての決意表明が成された。4名とも海津市内での就農を計画し、海津トマト部会に加入して営農を開始する予定である。

なお、第2期は4組5名で、4月20日から研修が開始されている。



【修了式の様子】